

昨年度評価(H29年度)								
【重点事業】評価と現状認識								
※	1_事業名	2_年度目標	3_達成状況	4_29年度決算①	5_30年度予算②	6_差(②-①)	7_評価と現状認識	8_所属
15	消費生活相談センター整備工事	消費生活相談の拡充と消費生活関連情報発信の拠点整備のため10月1日に開設する。	○	3,768	0	-3,768	平成29年10月にセンターを開所し、相談件数も伸びている。	産業支援課
32	花マルシェ事業	地域資源の花の商品開発やブランディング推進のため、地方創生推進交付金を活用した花マルシェを開催する。	○	4,200	4,200	0	商品の知名度アップや販路の開拓に努める方向で継続していく。	産業支援課
32	小規模事業者再投資補助金	小規模事業者の店舗等の水まわりの改修工事費を支援することで、地域経済の活性化を図る。	○	1,099	2,000	901	補助の需要は確実にあるが、工事総額が大きく、工事期間中の休業などの実態もわかってきた。	産業支援課
7	道路(橋梁)等長寿命化事業	沓掛横断歩道橋の修繕、橋梁定期点検の実施2橋、橋梁修繕工事の実施2橋。	○	48,094	10,977	-37,117	定期的な点検を行うことで安全性が高められた。また、計画的に補修を行うことができた。	土木課
32	県営土地改良施設耐震対策事業(大原池負担金)	大原池の堤体を県営事業で改修し、地震時の決壊を防止する。	○	1,210	0	-1,210	工事が完了し、耐震性等が強化された。	土木課
32	土地改良施設維持管理適正化事業(阿野排水機場)	阿野排水機場の主ポンプのオーバーホールを実施する事により、施設の長寿命化を図る。	○	16,200	0	-16,200	オーバーホールが完了し、今後も安心して稼働が可能になった。	土木課
32	土地改良施設維持管理適正化事業(大脇排水機場)	大脇排水機場施設の主ポンプのオーバーホールを実施する。	△	1,080	1,080	0	オーバーホールが完了し、今後も安心して稼働が可能になった。	土木課
90	水位計設置工事	2級河川、境川に水位計を設置する。	○	2,442	0	-2,442	水位計の設置が完了し、ホームページでの公開が可能になった。	土木課
3	空家等対策調査計画事業	空家等対策計画を策定する。	○	4,523	0	-4,523	空家等対策計画を策定することが出来た。今後は計画に沿った対策を行っていく。	都市計画課
8	桜ヶ丘沓掛線道路改良事業	桜ヶ丘沓掛線及び周辺道路の改良を実施する。	○	189,803	332,725	142,922	平成30年中の工事完了、年度内開通を目指す。	都市計画課
19	住宅・建築物安全ストック形成補助事業	耐震診断・耐震改修費用を補助し耐震化を促進する。	△	11,012	26,012	15,000	無料診断、改修費用補助とも、利用者の伸び悩みがある。改修には、大きな費用が掛かることからである。	都市計画課
29	平地公園新設事業	阿野平地地区に新たに公園を整備する。	○	13,955	0	-13,955	工事を完了し、平成30年3月供用開始をした。	都市計画課
9	有料駐車場維持管理事業	地下駐車場の機器の更新。	○	20,133	0	-20,133	機械管理となり、24時間対応が可能となった。	都市計画課
10	都市計画決定関連事業	第6回区域区分の見直しに対応する。	○	195	2,182	1,987	新市街地形成に向けた、区域区分見直し準備が行えた。	市街地整備課
10	新市街地整備事業(寺池地区)	計画協議の調整及び区画整理設計を行う。	○	8,046	6,894	-1,152	計画に従い、平成31年度中の組合設立を準備できた。	市街地整備課
10	新市街地整備事業(間米南部地区)	計画協議を進めるとともに、測量を行う。	○	21,299	41,534	20,235	計画協議を行うため、業務代行制度の採用を決め、平成33年度中の組合設立を目指す。	市街地整備課
32	産業団地整備検討事業(柿ノ木周辺地区)	整備概要を作成し、具体的な調査・設計につなげる。	○	5,589	11,502	5,913	愛知県企業庁とともに施行検討を行うこととなった。	市街地整備課
32	産業団地整備検討事業(豊山周辺地区)	整備概要を作成し、具体的な調査・設計につなげる。	○	5,292	1,491	-3,801	地権者の合意形成を図るため継続的な働きかけを実施していく。	市街地整備課
24	農排統合事業	農排統合に向け、下水道法に基づく事業計画の変更を行う。	○	18,669	70,492	51,823	平成33年の統合の準備ができた。	下水道課
26	公営企業会計移行事業	企業会計移行に伴う固定資産の評価、移行事務及びシステム構築(委託業務)を実施する。	○	15,639	14,127	-1,512	平成32年移行ができる準備ができた。	下水道課
90	流域下水道事業(建設事業負担金)	県が行う流域下水道建設事業に対し進捗状況に伴い負担を行う。	○	24,135	31,266	7,131	流域下水道事業、建設負担を行った。	下水道課
90	下水道管路施設長寿命化事業	人孔蓋更新、管更生を実施する。	○	37,775	49,922	12,147	計画的に下水道施設の長寿命化を図っていく。	下水道課
90	下水道総合地震対策事業	管渠・人孔耐震診断、耐震化工事及びマンホールトイレ整備の計画策定を実施する。	○	27,655	27,247	-408	計画的に下水道施設の耐震化を図る。次年度から3か年で市街化区域内の、避難所となる小中学校にマンホールトイレ整備する。	下水道課
90	不明水対策事業	農村集落排水施設管渠の一部で管更生工事を実施する。	○	15,509	22,500	6,991	不明水の実態は管路の老朽化だけでなく誤接続もある。実態把握と対策を検討する。	下水道課
6	環境基本計画・ごみ処理基本計画改訂事業	改訂版作成。	△	0	0	0	ごみ処理基本計画改訂を行うことができた。	環境課

昨年度評価(H29年度)								
【重点事業】評価と現状認識								
※	1_事業名	2_年度目標	3_達成 状況	4_29年度 決算①	5_30年度 予算②	6_差 (②-①)	7_評価と現状認識	8_所属
90	塵芥処理事業	市内における一般廃棄物を生活環境の保全上支障が生じないように収集し処分する。	○	108,843	112,958	4,115	市内からの可燃ごみ排出量は増加しており、排出抑制を行うことで処理費用を抑えることが必要である。	環境課
90	東部知多衛生組合負担金事業	市内における一般廃棄物を処分する。	○	400,192	685,738	285,546	構成市町の負担金は、市町の人口規模やごみの搬入実績で按分される。ごみの排出量を抑えることで負担額を小さくすることが必要である。	環境課
90	塵芥車購入事業	塵芥車買換。	○	9,342	0	-9,342	塵芥車の更新を行った。	環境課

※事業が関連するめざすまちの姿の番号です。No.90はめざすまちの姿関連外事業です。

「2_年度目標」から「6_差」の内容は、各所属の重点事業整理表からの転記です。

昨年度評価(H29年度)							
【主たる中施策事業】評価と現状認識							
※	1_事業名	2_進捗状況	3_29年度決算①	4_30年度予算②	5_差(②-①)	6_評価と現状認識	7_所属
15	豊明勤労会館事業	B	12,570	15,093	2,523	貸館業務は、ほぼ前年利用率と同等程度であり、引き続き利用率向上を目指す。専使用からは、使用料徴収もしくは、必要な分担金を徴収して、維持管理コスト低減を行う。	産業支援課
32	企業留置事業(補助金交付事務)	A	0	106,050	106,050	市内企業の市内留置のための施策として、設備投資補助や償却資産の一部(一時)減免制度の準備を行う。	産業支援課
32	企業留置事業(企業訪問事務)	A	166	168	2	市内に計画する産業用地の見込みなどの情報提供も行ってきた。	産業支援課
32	商工業の育成振興事業	A	112,909	99,587	-13,322	花マルシェ事業、駅活事業も継続して実施していくが、内容に変化を持たせ継続し、定着するようにしていく。	産業支援課
24	ふるさと豊明応援寄附推進事業	C	9,761	15,266	5,505	返礼品は、価格や人気商品で集めるのではなく、地域へ還元できる商品や市内事業所等で作成されたものも積極的に取り入れていく必要がある。	産業支援課
7	道路新設改良事業	A	131,153	143,207	12,054	道路等のインフラ維持管理は、継続して行う。要望工事は、採択後おおむね3年程度で実施できるように努めるようにしていく。	土木課
90	河川新設改良工事	A	44,886	36,476	-8,410	河川や排水路は、スムーズな流れを確保するため、障害物の除去や定期的な河床整備などの維持管理に努める。また、総合治水対策改定に当たっては、下水道事業とともに留意すること。	土木課
3	空家等対策事業	B	4,523	650	-3,873	空家等対策計画に従って、市内の空家データの集約に努め、特定空家の判定もしつつ、空家の適正管理のPRに努める。	都市計画課
8	都市計画道路整備事業	B	538,586	334,792	-203,794	桜ヶ丘杓掛線内山地内は、早期の工事完成と供用開始に努める。未整備区間の整備時期など、財政面との整合した計画をたてる。	都市計画課
28	定住促進関連事業	A	9,878	20,400	10,522	補助金交付事業は目標を上回る実績で順調に推移している。ただし、この補助事業を知らなかったという事例があり、PRの充実に努める必要がある。	都市計画課
10	市街地開発事業(住居系市街地整備)	C	29,731	59,173	29,442	面的整備は、地権者合意と法手続きなど長い期間を要するが、計画に従い順調に進んでいる。	市街地整備課
32	市街地開発事業(産業系市街地整備)	B	11,076	12,992	1,916	柿ノ木地区は、当初計画より1年ほどの前倒しで計画が進んでいる。今後は、地権者の最終合意が必要な時期を迎え、この事業の成否の重要な局面である。	市街地整備課
24	農排統合事業	A	18,669	70,492	51,823	事業スケジュールに概ね沿って進んでいる。工事施工に際して、関係機関との調整を慎重に行う。	下水道課
26	公営企業会計移行事業	A	15,639	14,127	-1,512	実施スケジュールに沿って進んでいる。今後、並行した会計により、検証を行いながら完全移行を行う。	下水道課
6	ごみ減量啓発事業	A	1,696	2,225	529	保育園児や小学生など低年齢層への啓発が行えた。今後も、低年齢層へ興味を引く題材により、啓発を継続する。	環境課
6	リサイクル推進事業	B	139,587	146,909	7,322	可燃ごみ内に含まれる、資源の分別の徹底させ、排出総量の抑制を行うため、資源品目の追加や可燃ごみ中に混在する資源の組成調査を適宜行い分別の徹底が必要である。	環境課
6	不法投棄対策事業	A	2,099	2,103	4	パトロール活動により、不法投棄の早期発見、処理を継続して行っていく。	環境課
10	有機循環推進事業	B	54,061	4,260	-49,801	生ごみは、その成分の多くは水分であり、水切りを徹底した廃棄方法や市民自らが行う生ごみ処理方法の普及を図っていく。	環境課

※事業が関連するめざすまちの姿の番号です。No.90はめざすまちの姿関連外事業です。

「2_進捗状況」から「5_差」の内容は、各所属の中施策評価書からの転記です。